2023.2.12(日)10:00-12:30
せとうちSDGsフォーラム @ゆめトピア長船

瀬戸内市の未来を変える SDGs

~みんなでSDGsを考えよう!~

SDGsは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、エス・デー・ジーズと読みます。「誰一人取り残さない」という理念のもとかけがえのない地球環境を守り、すべての人が幸せであり続けるための17の世界共通目標です。本会では、SDGsを知り、一人ひとりのできることを考えていきました。

本日のフォーラムを通じて、わたしたち一人ひとりができるSDGsを考える機会にしていただければと思います。

瀬戸内市
企画振興課主幹
仁科 佳菜子

瀬戸内市副市長
田野 宏

瀬戸内市では、SDGsを第3次総合計画に関連づけ、行政としても達成を目指しています。最近ですと、給食に地場産品を取り入れる"食のしあわせプロジェクト"や子育て世代の要望が多かった子どもの遊び場"こどもパーク"など、SDGsに関する取組みを進めています。SDGsのゴール達成は、行政だけでなく、市民のみなさんの暮らしや活動が大きく関わっているので、この場を開かせて頂きました。この会で一緒に考え、楽しみ、身近なものにしていきましょう。

第1部 瀬戸内市×SDGs サステナビリティの視点からまちづくりを考える

1 SDGsの基礎知識 ―その理解と伝え方

すばらしいゴール(ぜひ生活と密接)

SDGsの認知度は約76%

17の目標は、世界からの問い
自分に身近な問いをつくり、
自分で答えを導きだす

世界中が共通して取り組む目標

達成期限は2030年

17目標 169ターゲット 231指標

大事なポイントは… SDGsのメガネをかける

2 SDGsの基礎知識 ―日本の苦手なゴールとは

SDGs達成度ランキング 19位/163ヵ国(2022年)

達成済(強み)

課題(苦手)

2050年までに世界で海洋中に存在するプラスチックの量に魚の量を超過

ペットボトルレジ袋肥料用のプラ

廃棄しない生活サーキュラーエコノミー

チラシ作りをSDGsメガネで!

UDフォント 多言語 イラスト

減らす なくす = まるっと変える かつ 誰一人取り残さない

3 SDGsの特徴・活用方法

それぞれの目標・ターゲットが関係し合っている = インターリンケージ

19
8 9 経済 10 12
1 11 16 7 社会 3 4 5 2
15 14 環境 6 13

公共交通確保 商業の賑わい → 相乗効果(多)

森林伐採 自然災害 → トレードオフ(少)

道路建設

よい取組(評価基準)

SDGsメガネで点検してみる

4 身近にあるSDGs

社会課題に加担する? わあ!!

安くて簡単!! 即買い!! わあ☆

衣類

環境破壊 児童労働 大量生産 大量消費

タグで原産国を見てみる

私たちが何を買うか

エシカル消費

環境や社会に配慮した購買行動

この商品はどうだろう?と買い物をみてみる

5 企業・自治体の取組事例

株式会社藤大
電子部品検査の企業がカレー屋??

検査業務 … 視力低下 … 新規事業

続けられん… 働きかた カレー

幅広い視野で考え、行動

石川県金沢市
行政+多様なセクションと連携

SDGs達成

強み 課題

多分野 地域実践 国際連携

金沢市役所 青年会議所 国連大学

共通言語として対話

瀬戸内市のココがすごい!!

トレードオフの視点で現状を促え、情報を公開されていることが素晴らしいです!! また、高校生が中心となってひろめていることも驚きました!!

慶応義塾大学大学院
政策・メディア研究科 特任助教
内閣府地域活性化伝導師
高木 超(タカギ コスモ)さん

参加者の感想

今回のカードゲーム制作や小学校への出前講座へも行ったのですが、SDGsの新しい見方やデータを学べました。海のマイクロプラスチック問題が気になり、高校生が持ったらなるエコバッグを考えてみたいです。

邑久高校 2年生

勧めている企業で知り、参加してみました。ゲームを通じて「まず考える」ことの大事さと「語り合う」楽しさを感じました。勤務先で共有することからはじめてみます。

瀬戸内市企業勤務

子どもたちを当事者に変えていく。瀬戸内市の大人が魅力的でないから子どもが「これ、おれが考えた財政みなよなーっ」と言うように語る姿を楽しみにしています。

瀬戸内市住民

SDGsの基礎とこれからを考えるきっかけになる会になったのではないでしょうか。これからも行政だけでなく、市民の方や関わるみなさんと一緒に話しながら、政策を考えていきますので、よろしくお願い致します。

瀬戸内市総合政策部
部長 岡崎 清吾

グループででたアイデア(1)

14 海の豊かさを守ろう

瀬戸内市で漁業をする人が少なくなっている

土地産地消を促すお魚弁当デリバリー

グループででたアイデア(2)

8 働きがいも経済成長も

文化財の観光促進で観光客が増え、ポイ捨て増加

ペットボトルから刀剣ものさしをつくるリサイクルロボット

グループででたアイデア(3)

6 安全な水とトイレを世界中に

学校や駅のトイレが古くて汚い

トイレをきれいに利用する心を育てるまち

2 カードゲーム体験

自己紹介・発想カミニゲーム

SDGsカードゲーム体験

3 瀬戸内市が楽しくなるアイデア

考えたアイデアを共有

小学生が考えたアイデアに投票

カードゲームの特長
- イノベーション(変革)の練習ができる
- アイデアが生まれる
- 地域のことを知れる

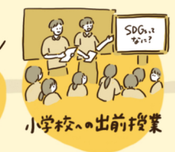
ポイント 発想力+みんなが喜ぶ

遊び方
- 1人3枚のリソースカードをもつ
- トレードオフカードをめくる
- リソースカードを使い、トレードオフを解消するストーリーを創る
- 3回実施後、アイデアをまとめる

瀬戸内市の持続可能なまちづくり
- 若い世代
- 楽しさ
- 政策提言

課題の聞き取り

行動策・トレードオフ検討・精査



小学校への出前授業

アイデアを市へ提言

表彰・政策反映

1 瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲームの説明

金沢工業大学制作のカードゲームX(クロス)をベースに岡山県立邑久高等学校 普通科1年生39名が2021年に制作、2022年に小学校へ出前授業を実施。瀬戸内市役所やアエコの方が協力し、若い世代が遊びながら気軽に政策提言できるまちを目指し、活動を続けている。

第2部 地域課題を解決するアイデアを考えよう! 瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム

公益財団法人 岡山県環境保全事業団
環境学習センター アエコ コーディネーター
気象予報士、環境カウンセラー
柏原 拓史(カシハラ タクシ)さん

グラフィック キタウラナオ